

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定	[令和6年度] 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化に触れるく 機会の提供	1 誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	（１）誰もが文化芸術活動に親しむことができる場や環境づくり	1.夜間開館等を利用した講座等の実施	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館において、土曜、日曜に開催する講座を多数実施、容易に参加できるよう配慮した。 (実施回数)137回 (参加者数)2,806人	引き続き、受講のしやすさに配慮し公民館講座を企画、実施する。
				生涯学習部図書館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市立図書館で土日に開催した講座やおはなし会は32講座、計433人が参加した。	引き続き市民の参加しやすい日程で講座を開催するとともに、LINE等を活用しより効果的な広報に取り組む。
			2.利用しやすい公民館の施設予約の実施・検討	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	施設予約システムに係る情報収集を行うとともに、システム所管部署と連携し、次期システム更新に向け課題等を整理した。	引き続き、関係部署と連携しシステム導入に係る検討を進める。
			3高齢者を対象とする講座や事業での文化芸術に親しむ内容の充実	健康福祉部高齢者支援課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・あじさいクラブ 当初予定通り以下の3事業を実施した。 「芸能・カラオケ大会」 【開催日】7月4日 【開催場所】習志野市民ホール 【参加者】290人(出演100人 見学190人) 「囲碁・将棋大会」 【開催日】9月3日 【開催場所】サンロード津田沼6階大会議室 【参加者】26人(囲碁20人 将棋6人) 「作品展」 (会員作成の工芸、陶芸、書、写真、絵画の展示) 【開催日】12月17日～20日 【開催場所】市役所1階展示スペース 出品者64人、出品数93点、延べ見学者321人 ・高齢者福祉センター芙蓉園 「芙蓉園文化祭・シルバークフェア」 【開催日】10月4日～10月5日 【開催場所】高齢者福祉センター芙蓉園 【内容】サークル活動団体の創作による作品展やハザー 【来場者数】延べ1,247人(出演者含む) ・老人福祉センターさくらの家 「第27回サークル発表会」 【開催日】11月7日～11月9日 【開催場所】老人福祉センターさくらの家 【内容】各サークル活動団体の発表(社交ダンス、カラオケなど) 【来場者数】延べ637人(出演者含む)	高齢者が取り組んでいる文化芸術活動の日頃の成果を発表する場を提供することは、高齢者の生きがいづくり及び外出機会の創出につながっている。このことから左記各事業を開催し、発表する場を提供することは妥当であり、次年度以降も実施する。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館で寿学級を開講し、文化・芸術に親しむプログラムを実施した。 (実施回数)104回 (延べ参加者数)2,284人	引き続き、文化・芸術に親しむことができるよう講座を実施する。
			4.図書館資料の充実	生涯学習部図書館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・資料の購入や除籍、寄贈本の受入れによる蔵書の整備を行うことで、市民の学習に役立つ新たな資料を提供できた。 ・「予約・リクエスト制度」を通じて、市民ニーズに考慮した資料整備を行った。 ※令和7年3月31日現在 ・市内全館購入点数:16,665点、購入金額:35,274,189円 (内訳)図書16,355冊、CD・DVD275点、視覚障がい者用録音図書35点 ・寄贈本受入冊数2,235冊	引き続き、購入や寄贈本の活用により、資料の充実に努める。
		（２）地域の文化活動の推進	5.市民文化祭の実施	協働経済部協働政策課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	コミュニティセンター4館全てにおいて計9日間にわたり市民文化祭を開催し、延べ8,902名が来場した。	令和7年度も引き続き市民文化祭を実施する。
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	令和6年度習志野市芸術文化協会主催市民文化祭実績 ・期間:令和6年10月27日(日)～11月30日(土) ・参加団体数:41団体 ・参加人数:515人 ・出品点数:124点 ・来場者:1,812人	習志野文化ホールの長期休館やJR津田沼駅南口駅前開発に伴い発表の場所の確保が課題であるが、様々な可能性を模索していく。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館において、市民文化祭を開催した。 (開催日数)各館3日(金曜～日曜) (来場者数)11,016人	各館のサークル連絡協議会等と連携し市民文化祭を開催し、活動成果を発表する機会を設けていく。
			6.市庁舎等での発表機会の提供	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体(こぶしの会、習志野お琴・三絃サークル、ウインドミルオーケストラ)による演奏会を実施した。 ・こぶしの会:12月25日(水) 来場者数 70人 ・お琴・三絃:1月6日(月) 来場者数 92人 ・ウインドミル:3月27日(木) 来場者数 130人	今後も同程度事業を実施する予定。

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定	[令和6年度] 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化に触れるゝ 機会の提供	1 誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	(3) 保育付きや親子で参加できる講座の充実	7.保育付きの講座やイベントの充実	こども部こども保育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・6こども園こどもセンターにおいて、講座やイベントが行われた。 ・6施設で計30回実施した。	・令和7年度も継続して実施していく。
				こども部子育て支援課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	事業計画に基づいて、習志野市こどもセンターで学習会およびリフレッシュ講座を3回実施した。	事業計画に基づいて企画し、実施する。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館で、幼児家庭教育学級や育児講座を中心に保育付き講座を実施したほか、保育付き成人講座も企画実施した。 (実施回数)62回 (延べ参加者数)871人	引き続き、企画・実施に努める。
			8.親子で参加可能な講座やイベントの充実	こども部こども保育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・6こども園こどもセンターにおいて、講座やイベントが行われた。 ・6施設で計74回実施した。	・令和7年度も継続して実施していく。
				こども部子育て支援課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	事業計画に基づいて、下記のとおり実施した。 ・習志野市こどもセンター：13回(きらっ子こどもまつり、プレーパーク、学習会等) ・きらっ子ルームやつ：2回(学習会)	事業計画に基づいて企画し、実施する。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館において、土日を中心に親子講座を実施し、親子でともに学ぶ機会を設けた。 (実施回数)96回 (参加者数)1,768人	引き続き、企画・実施に努める。
		(4) 障がい者や外国人が文化芸術活動を発表・体験する機会の提供	9.障がい者が制作した作品展示や、演奏等発表の場の提供	健康福祉部健康福祉政策課	D(25%以下)ほとんど達成出来なかった	10月27日に習志野市福祉ふれあいまつりを開催予定であったが、衆議院議員選挙の投開票日と日程が重複し、本まつり会場の一部を投票所として使用することになってしまったことから、習志野市福祉ふれあいまつり実行委員会を開催し、本まつりの開催中止を決定した。	習志野市福祉ふれあいまつり実行委員会において、令和7年度は、10月26日に本まつりを開催することを決定した。
				健康福祉部障がい福祉課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	花の実園の利用者が制作したちぎり絵を、市役所1階に12日間展示した。多くの来庁者等に見てもらうことができた。	令和7年度も引き続きちぎり絵の展示を実施予定である。 また、市内の障害福祉サービス事業所が制作物の販売を市役所1階で昼休みに行っている。制作物の発表機会にもなるため、支援していく。
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・障害福祉サービス事業所「花の実園」、「レインボー学園」の利用者が制作したちぎり絵を、教育委員会が後援する芸術文化協会行事『芸術祭』や『市展』等において展示した。	・今後も『芸術祭』や『市展』等において展示し発表の機会を提供出来るよう支援していく。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	対象区域に特別支援学校が位置する公民館において、市民文化祭で作品を展示した。 (参加者数)50人	当該地区において、引き続き実施に努めるとともに、他館での実施について検討する。
			10.多文化交流ができる機会の充実	協働経済部協働政策課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	青少年交流事業(派遣・受入)について、事業を委託している習志野市国際交流協会と連携しながら、受入(5月28日～6月10日)および派遣(7月20日～8月2日)を実施した。 市国際交流協会の日本語教室部会が主催する日本語教室に対して、学習会場の提供や市国際交流協会への補助金交付をとした財政的支援を行い、以下のとおり学習の機会を提供した。(令和6年3月末時点) ・年間実施回数:延べ 対面235回、オンライン155回 ・年間活動者数:延べ 対面5,370名、オンライン310名	【令和7年度】 令和8年度における姉妹都市提携40周年記念事業へ向けて、引き続き市国際交流協会、タスカルーサ市担当及び市内学校との協議を重ねる。また、今後の安定的な交流のため、持続可能な事業形態を検討する。

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定	[令和6年度] 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化に触れる ゝ 機会の提供	2 身近な場所で質の高い文化芸術鑑賞機会の提供	（１）習志野文化ホール・市民ホールでの幅広い鑑賞機会の提供	11.33.文化芸術の鑑賞機会の提供	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・市民ホールを会場とし、（公財）習志野市文化スポーツ財団文化課主催「習志野シンフォニエッタ千葉第6回室内楽演奏会」が実施され、164人が参加した。	・公益財団法人習志野市文化スポーツ振興財団文化課や習志野市芸術文化協会と連携し、今後市民ホールや地域でのアウトリーチ事業等で鑑賞機会を提供していく。
			12.34.アウトリーチ事業による鑑賞機会の提供支援	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・（公財）習志野市文化スポーツ振興財団のアウトリーチ活動については、袖ヶ浦体育館でオーケストラ鑑賞の機会を提供した「休日の音楽教室」、千葉県出身の囃家による「こども寄席」、「大人の怪談噺」、子ども達がアートとスポーツを同時に体験する機会を設けた「アートでスポーツな夏休みinブラッツ習志野」などの主催事業の他、「旧鴛田家住宅お月見の会」の中で「月待ちコンサート」やタスカルーサ市青少年訪問団の日本文化体験等に協力し、のべ1,084人に文化鑑賞の機会を提供した。 市民カレッジ公開講座にて、市内出身の囃家・桂伸衛門の落語を実施した。 来場者数 128人（うち、一般来場者64人） 市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体（習志野お琴・三絃サークル、こぶしの会、ウインドミルオーケストラ）による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート：12月25日（水）来場者数70人 お琴・三弦：1月6日（月） 来場者数 92人 市民カレッジ特別講義：3月27日（木）来場者数130人 市制施行70周年記念「誰でもピアノ演奏」でストリートピアノを実施し、オープニングセレモニーでは市内で活動するピアニストによる模範演奏を実施した。	・市庁舎のミニコンサートや美術展の開催、旧鴛田家住宅庭園でのコンサート等を企画・開催する等公益財団法人と連携し、積極的なアウトリーチ事業を支援していく。また、令和7年度の市民カレッジ公開講座では、保育付とし、小さな子どもがいる方でも鑑賞出来るようにする。
		（２）文化施設以外での鑑賞機会の提供	13.ICTを利用した文化資料や芸術作品の鑑賞機会の提供	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市ホームページ「習志野デジタル美術館」から習志野市芸術文化協会のホームページに入れるようにし、市展受賞作 計56点を鑑賞出来るようにした。	令和5年3月31日をもって習志野文化ホールが長期休館に入ったが、公益財団法人習志野文化ホールや習志野市芸術文化協会と連携し、今後地域でのアウトリーチ事業等で鑑賞機会を提供していく。
				生涯学習部図書館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・デジタル化した習志野市内の古い写真や絵葉書をインターネット上で検索・閲覧できる「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」を公開している。 アクセス数 14,013件 ・令和4年5月より、図書館への来館が困難な方や通常の活字による読書が困難な方も「いつでも、どこでも」読書を楽しめる「習志野市電子図書館」を提供している。 コンテンツ貸出点数9,585点	引き続き、「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」、「習志野市電子図書館」について周知を図る。
			14.39.文化を楽しむまち歩きができるガイドマップの作成	協働経済部産業振興課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	習志野市学校電子図書館『ナランドライブラリー』に「ぶらっと習志野観光ガイドブック」を掲載し、市内小中学生等への周知を図った。また、施設の窓口や、イベント等で冊子を配布し、本市の魅力を広く周知することができている。	楽しくまち歩きをするガイドマップとして活用し、本市の魅力を継続して広く伝える。新たな活用方法等の検討が必要と考える。
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内の歴史的な場所や文化財の所在地をまとめた「習志野市 歴史・文化財マップ」を、図書館や公民館に配架した他、職員が講師派遣依頼を受けた歴史講座等で配布を行った。 また、旧大沢家住宅及び旧鴛田家住宅見学用の子供向けパンフレットの作成に取り組んだ。 「習志野まちかど美術館ガイドマップ」の掲載内容・写真などの情報更新を行い、ホームページにて公開した。	引き続き「習志野市 歴史・文化財マップ」の配布を行う他、旧大沢家住宅及び旧鴛田家住宅見学用の子供向けパンフレットを完成させ、配布する。 身近な文化芸術に親しんでもらえるように情報収集につとめ、適宜更新していく。
	3 文化に関する情報の収集と提供	等（１）市ホームページ	15.文化関連のホームページの充実と情報一元化	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市ホームページ「習志野デジタル美術館」から習志野市芸術文化協会のホームページに入れるようにし、市展受賞作 計56点を鑑賞出来るようにした。	各情報のさらなる充実を図るとともに、認知度向上に向けた効果的な広報を検討する。

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定	[令和6年度] 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	子どもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり	（１） 未就学性 の子ども達 が文化芸術に	16.講座等でのアートスタートの実施	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館で実施する、幼児家庭教育学級や育児講座などで、幼児が音楽等に親しむプログラムを取り入れた。 (実施回数) 39回 (参加者数) 417人	引き続き、実施に努める。
			17.ブックスタート事業の継続	こども部子育て支援課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・健康支援課が開催する4か月児健康相談の場において、ブックスタートバック(絵本とコットンバッグ)を贈呈。 ・絵本配布数: 938セット	引き続き、健康支援課職員協力のもと実施する。
				生涯学習部図書館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	特別にデザインした図書館カードである「誕生記念図書館カード」を、親子で読んでほしい本を紹介したブックリストと共に新生児に配布した。 誕生記念図書館カード配布枚数 1,037枚	引き続き、関係各課と連携しながら事業を進めていく。
			18.伝統文化が感じられる行事等の実施 (子どもや若い世代)	こども部こども保育課 学校教育部学校教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・こども園、幼稚園、保育所15か所において、こどもの日、七夕、節分、ひなまつり等の行事を実施した。	・令和7年度も継続して実施していく。
		（２） 学校教育における文化芸術活動の推進	19.文化芸術鑑賞・制作・発表などの機会の提供	学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	「ならしのこども美術館」は、昭和55年の国際児童年の記念事業として第1号が創刊され、以来3年に1度ずつ出版しており、今年度は第16号発刊した。また発刊と同時に原画原作展を市庁舎で開催し多くの市民の方が原画原作を鑑賞した。今後のデジタル化の推進を含めて、発行委員会議を重ね、今年度の活動を充実させた。	今年度は第16号の発刊年度であった。作品集の発行部数は第15号のときの半分(600部)として、習志野市学校電子図書館『ナランドライブラリー』にデジタル版をアップロードし、活用を推進する。また今後のデジタル化を検討する。
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	習志野文化ホール の長期休館後も「ならしの学校音楽祭」が次年度以降継続出来るように他市のホールに働きかけた。	・引き続き「ならしの学校音楽祭」が次年度以降継続出来るように他市と調整し、支援していく。
			20.学校行事や部活動における音楽を発表する機会の充実	学校教育部学校教育課 学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・習志野市小中音楽会を八千代市市民会館で開催した。2年目となるので、昨年度の反省を生かし、運営委員会と綿密に打ち合わせを行い、共通理解を図りながら滞りなく行うことができた。当日は多くの保護者が参観にいらしたが、大きな混乱もなく実施することができた。 ・習志野市小中学校管楽器講座を計画通りに開催した。	・令和7年度の小中学校音楽会も八千代市市民会館で実施予定である。 ・出場学年は5年生のみに戻す。また、吹奏楽部や中学校の出場については変更なし。 ・習志野市小中学校管楽器講座は、年間を通して実施計画に沿って開催予定である。
			21.伝統文化が感じられる行事の実施	学校教育部学校教育課 学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	習志野市席書大会を東部体育館にて実施した。87人の児童生徒が参加し、厳かな雰囲気の中、集中して取り組む姿が見られた。保護者や学校長など、多くの参観者が来場した。席書大会で書かれた作品は、全て「小中書初展」として市庁舎で展示した。また、特別賞の受賞者は市庁舎にて表彰式を行った。	令和7年度も継続して東部体育館で実施予定。
		2 文化を次世代につなげる環境の整備	22.27.「伝統文化親子教室」の開催支援	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	広く受講生を募るため。学校教育部と連携し、市内小中学校に、児童・生徒への各教室募集チラシ配布を依頼した。 また、PTA連絡協議会、放課後子供教室においてチラシを配布し参加児童の拡大を図った。 【令和6年度伝統文化親子教室応募実績】 華道 12人 茶道 20人 書道(2教室) 40人 着付 11人 華道及び茶道教室は、市民文化祭(モリシアホール)にて展示の開催・おもてなしの体験をした。	伝統文化親子教室を周知させるため、伝統文化親子教室事業に係る生徒募集チラシについて、広報掲載・配架等の他、多くの目に触れさせることが出来るよう今後も保護者用連絡システムを利用した電子配布等を実施していく。
			23.文化芸術団体の発表・展示の場への小中高生の参加環境支援	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・習志野市美術展覧会へ習志野高等学校の美術部員を中心として作品を出品するよう促すため学校へのチラシ配布等について支援した。 ・高校生の出品人数 洋画9人 書17人	引き続き、小中高生が文化芸術団体の発表・展示の場への小中高生の参加環境を支援する。
			24.文化を通した世代間交流の場づくり	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	NPO法人習志野第九合唱団と連携し、市内小中高生を対象に「習志野第九演奏会」のリハーサルを無料で公開した。 12月14日開催 小学生2人 中学生5人	習志野文化ホール の長期休館により習志野第九演奏会の開催場所が市外となるが、現状に沿いつつ公開リハーサルの見学等についても引き続き支援する。
		（２） 文化 推進財 の保存 の	25.文化財の収集・保存の充実	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	損傷が著しかった旧大沢家住宅の茅葺屋根について、令和5、6年度に表層葺き替えを行った。 また、谷津貝塚出土鉄製品のうち鉄鍬、刀子等10点について保存処理を行った。 その他、文化財・市史関係図書の購入や寄附受入により、資料の充実を図った。	旧鴫田家住宅の茅葺屋根の損傷が著しいことから、表層葺き替えに向けた準備を進める。 その他、文化財全般について適切な保存処理に努めると共に、資料の充実を図る。
			26.埋蔵文化財調査の充実	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	遺跡の詳細を調査する本調査を1件、遺跡の性質や範囲を確認する確認調査を4件、遺跡の有無を確認する試掘調査を5件実施した他、現地踏査や埋蔵文化財の保護を目的とした協議を行った。 また、実叡和田北遺跡を新発見として包蔵地の指定を行った。	令和7年度以降、鷺沼地区土地区画整理事業地周辺の八剱神社遺跡等の発掘調査を予定している。

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定		事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	3 伝統文化を担う子どもや若手の育成	（１）伝統文化を担う子ども・若者の育成	22.27.「伝統文化親子教室」の開催支援 ≪再掲≫	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	〔令和6年度〕 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
			28.伝統芸能の体験支援	学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	広く受講生を募るため。学校教育部と連携し、市内小中学校に、児童・生徒への各教室募集チラシ配布を依頼した。 また、PTA連絡協議会、放課後子供教室においてチラシを配布し参加児童の拡大を図った。 【令和6年度伝統文化親子教室応募実績】 華道 12人 茶道 20人 書道(2教室) 40人 着付 11人 華道及び茶道教室は、市民文化祭(モリシアホール)にて展示の開催・おもてなしの体験をした。	伝統文化親子教室を周知させるため、伝統文化親子教室事業に係る生徒募集チラシについて、広報掲載・配架等の他、多くの目に触れさせることが出来るよう今後も保護者用連絡システムを利用した電子配布等を実施していく。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	袖ヶ浦東小学校を中心に袖ヶ浦地区において和太鼓の演奏を積極的に行っている。 県の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」において、小学校が「能楽」の鑑賞を実施した。	国の事業等を活用し、伝統芸能の鑑賞・体験活動の推進をする和太鼓や箏は備品として所有している学校に限られるため、情報を各学校で共有し、より多くの児童生徒が体験できるようにする。
文化を活かす活用	1 「音楽のまち習志野」の推進	（１）「音楽のまち」の交流・団体の活動を支える	29.コンクール優秀団体の発表の場と鑑賞機会の提供	学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・ならしの学校音楽祭を市川市文化会館で開催した。出場基準を満たした小中高等学校の13校と小中学校フェスティバルバンドが参加(計14団体)した。延べ約1,700人の来場者があり、大盛況であった。 ・教育委員会職員と学校職員が協力し、企画・運営を行った。	・令和7年度は、令和8年3月7日に市川市文化会館で開催する予定である。 ・来場者の席については1F席から着席いただいたが、昨年以上に多くの来場者だったため、2階の空いている児童生徒席にお座りいただいた。 職員が担当する各係の人数見直しが必要である。
			30.身近なところで子ども達が目標を持つことができる環境の維持	学校教育部学校教育課 学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	習志野市総合教育展は、開催期間を5日間に変更して開催した。延べ2,679人の方が来場し、児童生徒の学習の取り組みを伝えることができた。理科部門の作品については、触れたことによる故障を防ぐため、昨年度同様、作品の動作時の様子を映像でまとめ、会場で上映した。	理科部門の科学工夫作品については、次年度も映像にまとめ上映する予定である。
		（２）音楽に親しみづく人との交流を図る	31.地域が一体となって行うコンサートの実施	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	各公民館地区の学習圏会議が中心となり、地域の学校や地域で活動する団体が参加するコンサートを企画、実施した。 (実施回数)8回 (参加者数)5,995人	引き続き、実施に努める。
			32.地域の人材を活かした音楽会の実施	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・モリシア津田沼センターコートにて、市制70周年記念事業「誰でもピアノ演奏」を実施し、オープニングセレモニーで模範演奏として「習志野天文部」所属のピアニストによる演奏会を実施した。(『誰でもピアノ演奏』11月2日(土)～8日(金)ピアノ演奏参加者500人。) ・市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体(こぶしの会、習志野お琴・三絃サークル、ウインドミルオーケストラ)による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート:12月25日(水) 来場者数70人 お琴・三弦:1月6日(月) 来場者数 92人《再掲》 弦楽四重奏のしらべ:3月27日(木) 来場者数130人	地域の音楽家に発表機会を提供するとともに、公益財団法人 習志野市文化スポーツ振興財団文化課や習志野市芸術文化協会と連携し音楽関係の団体とのつながりを活かしたコンサート等を実施していく。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	公民館利用サークルを中心に、地域人材を活用した音楽会を開催した。 (実施回数)11回 (参加者数)2,362人	音楽会の実施は、身近な公民館で音楽に触れる機会になるとともに、出演者の発表の場となることから、ひきつづき実施に努める。
		（３）「音楽のまち」のホールを象徴する習志野文化	11.33.文化芸術の鑑賞機会の提供≪再掲≫	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・市民ホールを会場とし、(公財)習志野市文化スポーツ財団文化課主催「習志野シンフォニア千葉第6回室内楽演奏会」が実施され、164人が参加した。	・公益財団法人習志野市文化スポーツ振興財団文化課や習志野市芸術文化協会と連携し、今後市民ホールや地域でのアウトリーチ事業等で鑑賞機会を提供していく。
			12.34.アウトリーチ事業による鑑賞機会の提供支援≪再掲≫	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・(公財)習志野市文化スポーツ振興財団のアウトリーチ活動については、袖ヶ浦体育館でオーケストラ鑑賞の機会を提供した「休日の音楽教室」、千葉県出身の囃家による「こども寄席」、「大人の怪談囃」、子ども達がアートとスポーツを同時に体験する機会を設けた「アートでスポーツな夏休みinブラッツ習志野」などの主催事業の他、「旧鵜田家住宅お月見の会」の中で「月待ちコンサート」やタスカルーサ市青少年訪問団の日本文化体験等に協力し、のべ1,084人に文化鑑賞の機会を提供した。 市民カレッジ公開講座にて、市内出身の囃家・桂伸衛門の落語を実施した。 来場者数 128人(うち、一般来場者64人) 市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体(習志野お琴・三絃サークル、こぶしの会、ウインドミルオーケストラ)による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート:12月25日(水) 来場者数70人 お琴・三弦:1月6日(月) 来場者数 92人 市民カレッジ特別講義 3月27日(木) 来場者数130人 市制施行70周年記念「誰でもピアノ演奏」でストリートピアノを実施し、オープニングセレモニーでは市内で活動するピアニストによる模範演奏を実施した。	・市庁舎のミニコンサートや美術展の開催、旧鵜田家住宅庭園でのコンサート等を企画・開催する等公益財団法人と連携し、積極的なアウトリーチ事業を支援していく。また、令和7年度の市民カレッジ公開講座では、必要があれば保育可能とし、小さな子どもがいる方でも鑑賞出来るようにする予定である。

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定	[令和6年度] 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化を活かす活用	1「音楽のまち習志野」の推進	(3)「習志野文化ホールのまち」を象徴する	35.音の響きを重視した誰もが利用しやすい文化ホールの再整備の検討	政策経営部総合政策課	B(75%) 実施予定事項が実施過程もしくはわずかに達成できない事項があった	令和4年7月に策定した「習志野文化ホール再建設基本構想」及び令和5年3月に策定した「習志野文化ホール再建設基本計画」を基に、再開発事業者と協議を進め、文化ホールの基本設計が完了した。しかしながら、再開発事業スケジュールの見直しにより、一部協議が中断している。	再開発事業に合わせた文化ホールの再建設について、今後の対応を再開発事業者と引き続き協議していく。
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・関係団体の意見を確認し、総合政策課に情報提供する等連携を図った。	誰もが利用しやすく質の高い芸術を楽しめる環境づくりに向けて、引き続き関係各課と連携を図る。
	2文化的な資源の活用	(1)文化財等文化的な資源の周知	36.教育等と連携した文化的な資源の活用	学校教育部指導課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	教師と学校司書が連携を図り、学校図書館や地域の図書館を有効に活用し、多くの本を学習で利用できるように取り組んできた。昨年度から導入した学校電子図書館も、各校で継続的に利用できるよう研修等で周知した。また、研究指定校の取り組みが2年目になるので、研究成果をまとめている。	研究指定校の研究成果(学校図書館、地域図書館の連携と活用)を各校に広め、今後の実践に活かしていく。
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	向原南遺跡(鷺沼地区土地区画整理事業地内)の発掘調査を行った際に、発掘調査現場見学会を開催した(見学者数約200人)。近隣の鷺沼小学校にもお知らせを配布し、多くの家族連れが来場した。	今後も大規模な発掘調査を行う際は、近隣小学校等と連携し、文化財に関する理解を深めていただく機会を提供するよう努める。 また、インターンシップや講師依頼の要望等があった場合は、積極的に応じる。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	地域にある文化財や史跡を題材に、地域の歴史等を学ぶ講座を実施した。 (実施回数17回 (参加人数)328人	引き続き、実施に努める。
				生涯学習部図書館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	・習志野市及び千葉県に関する図書や行政資料を収集し、各図書館に設置した「郷土行政資料コーナー」に並べている。また、習志野市に関する資料リストを作成し図書館ホームページに公開している。	「郷土行政資料コーナー」及び「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」について、積極的に発信し利用の促進を図る。
			37.文化財等文化的な資源の情報発信の充実	生涯学習部社会教育課	B(75%) 実施予定事項が実施過程もしくはわずかに達成できない事項があった	埋蔵文化財調査室では、市内出土考古資料等を常設展示しており、令和6年度は約5組の見学者が訪れた。 市役所1階展示スペースでは、文化財資源の情報発信として、鷺沼古墳、谷津貝塚、不三戸貝塚、屋敷貝塚、花咲台遺跡から出土した考古資料を、いずれも令和5年度から展示している。	埋蔵文化財調査室では、一般公開を行っているロビーの他、至る所で雨漏りが発生している。今後、雨漏りの状況が悪化した場合は、施設の公開中止や資料の保存方法も検討しなければならない。 併せて、実花公民館跡施設への歴史資料専用展示室の開設に向けて、検討を進めていく。 市役所1階展示スペースの展示品については、定期的に(年3回程度)入れ替えを行っていく。
					A(100%) 実施予定事項が達成できた	習志野市内において製造あるいは加工されたものまたは、主に市内を拠点に販売されている食品・工芸品等で、習志野市らしさを表現する製品を「習志野市ふるさと産品」として、にんじん、パラ、ドイツとの交流の歴史など、習志野市ゆかりの原材料や、エピソードをモチーフとした商品を市内外にPRするツールとして活用した。 市民まつりや農業祭などのイベント等でPRを行った。	習志野商工会議所などと連携を図り、地域の活性化につながる、習志野市らしさを表現する商品の開発等に向け検討していく。
		(2)文化と他分野との連携による地域の活性化につなげる仕組みづくり	38.特産品開発等の産業への文化の活用	協働経済部産業振興課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	習志野市学校電子図書館『ナランドライブラリー』に「ぶらっと習志野観光ガイドブック」を掲載し、市内小中学生等への周知を図った。また、施設の窓口や、イベント等で冊子を配布し、本市の魅力を広く周知することができている。	楽しくまち歩きをするガイドマップとして活用し、本市の魅力を継続して広く伝える。新たな活用方法等の検討が必要と考える。
			14.39.文化を楽しむまち歩きができるガイドマップの作成《再掲》	協働経済部産業振興課	A(100%) 実施予定事項が達成できた		
				生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内の歴史的な場所や文化財の所在地をまとめた「習志野市 歴史・文化財マップ」を、図書館や公民館に配架した他、職員が講師派遣依頼を受けた歴史講座等で配布を行った。 また、旧大沢家住宅及び旧鶴田家住宅見学用の子供向けパンフレットの作成に取り組んだ。 「習志野まちかど美術館ガイドマップ」の掲載内容・写真などの情報更新を行い、ホームページにて公開した。	引き続き「習志野市 歴史・文化財マップ」の配布を行う他、旧大沢家住宅及び旧鶴田家住宅見学用の子供向けパンフレットを完成させ、配布する。 身近な文化芸術に親しんでもらえるように情報収集につとめ、適宜更新していく。
	3公民館活動等を通したまちづくり	(1)交流を促す文化活動の活性化	40.交流を通じた発表の場づくり	協働経済部協働政策課	A(100%) 実施予定事項が達成できた	ミニコンサートや各サークル活動団体の活動発表などの事業を行った。 【七タコンサート(谷津CC)】 参加人数69人 【クリスマスコンサート(谷津CC)】 参加人数60人 【アカベラコンサート(谷津CC)】 参加人数80人数 【クリスマスコンサート(東習志野CC)】 参加人数120人 【なつかしのサマーコンサート(実籾CH)】 参加人数55人	予定人数を超える来場者があり、令和7年度も引き続き事業を実施する。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定事項が達成できた	市内6公民館において、市民文化祭を開催した。(開催日数)各館3日(金曜～日曜) (来場者数)11,016人	各館のサークル連絡協議会等と連携し市民文化祭を開催し、活動成果を発表する機会を設けていく。

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和6年度 実施状況 個別判定	[令和6年度] 実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 B～Dをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和7年度以降の実施予定
文化を活かす活用	3 公民館活動等を通したまちづくり	(1) 交流を 性促す文化活動の	41.展示スペースの提供	協働経済部協働政策課	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	市民文化祭において作品発表のための展示を行ったほか、近隣小学校の児童による書初め展、地域の大学との連携による写真展や花の実園による「ちぎり絵展」を行った。 【市民文化祭】 コミュニティセンター4館全てにおいて計9日間にわたり市民文化祭を開催し、延べ8,902人が来場した。	いずれも好評であり、令和7年度も引き続き同様の事業を実施する。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	公民館壁面の空きスペースを活用し、活動サークルの作品展示を行い、発表の場を設けた。また、中央図書館と連携し、近隣学校園の園児・児童の作品展示スペースを設けた。 (実施回数) 19回 (参加者数) 198人	引き続き、先品発表の場づくりに取り組む。
		(2) 大学と連携した公民館活動	42.地元大学と連携した公民館事業の実施	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	市内2公民館において、近隣大学と連携した公民館事業を実施した。 (実施回数) 4回 (参加者数) 104人	引き続き、大学と連携し講座の実施に努める。
			43.学生の公民館活動への参加機会の提供	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	市内大学のほか、近隣の高校と連携し講座を企画、実施した。 (実施回数) 23回 (参加者数) 295人	引き続き連携し実施に努める。
		(3) 社会教育を通した地域の魅力の発信	44.まちづくりや地域の魅力について話し合う場の提供	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	市民活動の初動支援・活動補助を行うフューチャーセンターにおいて、活発な活動が行われた。 ・市民活動導入促進講座(想像企画がっこう) 延べ4回 19人参加 ・企画発表会(きかく発表会、はじめてみたい発表会)、企画相談会(さくせん会議、はじめてみよう相談会) 延べ8回 60人参加 ・市民活動初動応援開催イベント 延べ4回 1,139人参加 ・クリエイターズクラブ新規登録者数 28人(登録人数268人)	フューチャーセンターのメンバーシステムであるクリエイターズクラブで、市内に潜在するクリエイターを発掘し、地域を盛り上げる市民活動のプレーヤーとしての活躍を支援する。 また、クリエイターズクラブの登録者をさまざまな活動に繋げていくため、指定管理者と連携し、登録者のリスト化に取り組んでいく。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	各公民館地区の学習圏会議において地域の歴史や魅力を知るイベントなどを実施した。	引き続き、学習圏会議を主体として地域の魅力等を知る、あるいは発見する講座等を実施する。
			45.地域を活性化させるイベントやまつりの実施	生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	公民館と地域が連携したイベントの開催や、日本の伝統行事に触れるイベントとを開催し、地域の活性化に取り組んだ。 (実施回数) 10回 (参加者数) 3,954人	引き続き、実施に努める。
		(4) 地域を担う人材の活用	46.生涯学習複合施設としてのブラッツ習志野の活用	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	複合施設の利点を活かした取組を行った。 ・公民館と図書館の共催講座(近代日本の詩と歌詞から考える日本語のリズム)実施 ・フューチャーセンターと図書館のコラボ企画(みんなで知ろう！町のトリさんのいろいろ)実施 ・公民館活動における作品の図書館での展示 ・各施設のイベントの関係者協議会での共有、チラシの相互掲示 ・開館5周年記念イベントの開催	指定管理者の自主事業として、複合施設の利点を活かした施設全体での一体的イベントの実施、マルシェの開催、夏まつりの開催など、様々なイベントを実施し、市民の新たな出会いや交流を促進する。
				生涯学習部公民館	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	ブラッツ習志野の周年行事に合わせて、市民ホールにおいて篠笛体験のワークショップとコンサートを開催し、日本古来の楽器に親しむ事業や民間航空発展のため鷺沼海岸の干潟飛行場などで活躍した伊藤音次郎について、「歴史的資料で読み解く 伊藤音次郎」と題した講演会を実施した。 また、公民館と図書館の共催事業の実施、フューチャーセンターのクリエイターズクラブの方を講師に招いた公民館講座の実施、公民館活動における作品の図書館での展示など、複合施設の利点を活かした取組を行った。	引き続き、ブラッツ習志野と連携した事業の企画、実施に努める。
			47.市民カレッジ卒業生が活躍できる仕組みづくり	生涯学習部社会教育課	A(100%) 実施予定 事項が達成 できた	・『市民カレッジOBボランティア』に4人(うち1人が更新)が新たに加入した。 登録者数: 24人 習志野市文化スポーツ振興財団主催「月待コンサート」、市制70周年記念事業「誰でもピアノ演奏」、「習志野第九演奏会」にて受付や会場案内、チラシ配りを担当した。	履修することによりボランティア等につなげられるようなカリキュラムを継続したい。 今後の公民館等でも主体的に活動出来るよう橋渡しをしていく。